

日本共産党

高槻市議員

きよた 純子



ニュース

2025年7月25日

8月号 No.141

発行：日本共産党高槻市議員団 きよた純子  
連絡先：議員団控室（市役所内）  
TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

要介護認定率

2024年度	2023年度
21.0%	20.4%

居宅サービス利用割合

	2024年度 年間平均	2023年度 年間平均
要支援1	26.8%	25.7%
要支援2	23.3%	21.1%
要介護1	41.6%	42.3%
要介護2	56.2%	52.5%
要介護3	60.6%	58.6%
要介護4	68.1%	67.1%
要介護5	78.2%	72.1%
合計	54.9%	52.7%

高齢者福祉専門分科会

7月16日に高齢者福祉専門分科会が開催され、きよた議員が出席しました。2024年度の要介護認定率は21.0%（国19.7%、府24.3%・注、国・府は暫定値）。居宅サービス利用割合は54.9%で、限度額に対して半分程度の利用です。要介護状態区分が高くなるにしたがつ

ケアマネ不足について

高齢者やその家族の相談に乗り、介護サービスの利用に欠かせない計画書（ケアプラン）をつくるケアマネジャーの不足が深刻です。国は昨年、ケアマネジャー1人が担当できる件数の上限を月39件から44件へと緩和しました。しかし、業務の過密化に苦しむ現場のケアマネジャーからは、基準緩和ではなく、担い手を増やす支援を求める声があがっています。

ケアマネジャーの給料は介護報酬や介護報酬や地域包括支援センターの委託料から出されています。事業所に支払われる介護報酬は、利用者の要介護度や利用者の受け入れ件数に応じて決まる仕組みです。高槻市の居宅支援事業所の法人数は82法人です。担当件

数上限の44件を超えて受け入れた場合は報酬減算となる事業所は今年3月時点で4事業所（4.9%）あります。また、身寄りのない一人暮らしも多くなるなか、入院準備、役所の手続き、ヘルパーに依頼できない買い物など、介護保険制度では評価されないシャドーフークといわれる「無報酬労働」が問題になっています。しかし、利用者の困りごとを把握するのはヘルパーやケアマネの大切な役割です。

STOP! 地球温暖化



今年の夏は暑さに苦しめられています。さらに、豪雨、台風、猛暑や森林火災など、「気候危機」の影響が国内でも大きくなっています。

今後の10年間に、全世界の温室効果ガス排出を6割削減できるかどうか、ここに

人類の未来がかかっています。二酸化炭素など温室効果ガスの排出量削減が急がれます。

COP28では、1.5度目標達成のためには、温室効果ガスを2019年水準比で2030年までに43%、2035年までに60%の大幅削減が必要だと日本政府は2月に、2035年度までに2013年度比で60%削減するという目標を国連に報告しました。これは、2019年度比では53%削減にすぎず、国連が世界平均で求める水準を下回っています。温室効果ガスを削減する日本政府の目標は低すぎます。また、石炭火力と原発に固執し、再生エネルギーの普及を妨害する姿勢は世界からも批判が高まっています。

ワークについては「国の検討会の資料ではケアマネジャーの本来業務でない、時間外相談や家族介護者本人に対する相談、入院・通院時の付き添い・送迎、介護保険制度以外の行政への手続きや申請の代行・支援などに対応している。発生頻度は多くないが、発生した場合も多く多くの時間が割かれる状況となつている」とこたえました。業務の過密化は利用者1人ひとりに十分な対応ができないという状況を作り出します。きよた議員は「高槻市での実態を十分に把握して、国の責任で人員・体制の構築を図るよう意見をあげて欲しい」と求めました。

# 水道事業の計画について

高槻市では給水量のうち、約3分の1は地下水を利用しています。残りの約3分の2は大阪広域水道事業団（以下、企業団）から受水しています。地下水の製造単価が約27円/m<sup>3</sup>であるのに対し、企業団水の受水単価は72円で地下水の取得量は年間1,200万m<sup>3</sup>可能です。そのため、使用水量が減少している状況では、企業団水の給水を減らし、地下水年間1,200万m<sup>3</sup>を維持するとしています。

10月から水道料金の値上げをしても、収支の見込は2035年度に赤字に。資金残高も2035年度にはマイナスになり、また値上げになる可能性があまりありません。そういう点では、利用者負担を求めるやり方は破綻しています。

高槻市の管路延長は1075kmで、北摂7市で一番長いです。40年以上経過している老朽管路は

1075kmのうち211km、約20%です。また、現在高槻市内の水道管のうち、地震に強い耐震適合管の割合は約36パーセントで、全国水準と同程度です。

南海トラフ地震の発生の可能性が高まっており、水道管の耐震化をすすめる必要があります。管路の耐震化については国庫補助メニューはあるものの、補助要件がきびしく87.2%の管には耐震補助がつかえません。管路の耐震については、補助要件を拡充し、きちんと国が補助すべきです。



## ～お・知・ら・せ～



# 地域猫活動懇談会

8月9日（土）14時～16時

場所 クロスパル高槻 301号室



おはなし 日本共産党高槻市議員 きよた純子

ぼくたちの話を  
するんだって

地域猫活動では一代限りの命を全うできるよう、不妊・去勢手術と餌やり、個体の識別など行います。野良猫のゴミあさりなどをなくすなど環境美化にもつながります。猫と共生をめざすさまざまな立場の地域猫活動をはじめとするボランティア活動への支援強化が求められています。しかし、地域で十分な理解が得られない。ボランティア活動に自己負担がかかるなど、困難な状況があります。

今回の懇談会は、高槻市で活動されている方や地域猫活動に興味があるという人、みなさんと交流したいと思います。



地域ネコについて考える会 連絡先：川合 メールアドレス [mhki5068@gmail.com](mailto:mhki5068@gmail.com)

673-0002

生活相談 ☆ホットライン お困りごとはありませんか？

日時：8月28日（木） 14:00～15:30 市議員

当日は電話で相談を受け付けます。電話イラストの上の番号におかけください。 きよた純子

